

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 10 月 18 日 (13:40~14:15)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 成田・佐藤・峠館・島脇・澤口・川口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	12人	4人	0人	16人

前回の改善計画	自宅での利用者の過ごし方や家族の気持ち等をコンスタントに確認し汲み取れるよう、送迎時に家族とのコミュニケーションを図っていく。積み重ねることで信頼関係の構築につながり、気軽に話していただけるよう努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・送迎時にご家族様へ声掛けをし、何か相談等があった際にはケアマネや管理者に報告し、信頼関係の構築に努めることができた一方で、送迎時ということもあり、次のお迎え等もある為、十分に時間を費やすことは難しかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	12	4	0	16人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	11	3	0	16人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	10	5	0	16人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	11	5	0	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時、ご家族様へ必ず声掛けをし、気軽に話をしていただけるよう努め、ご利用者様の情報等もミーティングで共有できるようにしている。 ・ケアマネを通し、ご家族様へ情報を伝えたり、相談したりして、関係作りに努めている。 ・利用開始前の基本情報について、分からないものは自分で調べたり、上司に確認する事ができている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・情報提示された際のミーティングに参加できていなかったり、アセスメントシートに目を通すのが前日や当日という事もあり、アセスメントシートを読み切れず、把握できている職員から聞きながら対応した事もあった。 ・ご家族様からの情報収集の際に、どこまで踏み込んで良いかわからず、必要な情報を得る事が難しい。 ・紙ベースのものには気づきや本人の状態は記載しているが、PC入力ができている事がある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ご家族様へ初回利用時の様子等をきちんと伝えるように心掛け、情報収集するだけでなく、事業所側から発信する事にも重点を置いたコミュニケーションを図る事で、関係構築に努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 10 月 19 日 (13:55~14:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 新岡・成田・峠館・加藤・坂上・川口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	8人	6人	16人

前回の改善計画
ケアプランの更新に合わせて、ケアマネジャーが各職種 (ケアマネジャー、看護師・介護職員) が集まれる日時を設定し、ケース会議を開催する。確定したケアプランは閲覧用ファイルへ綴じ、いつでも職員が確認できるようにし、ニーズを意識した関わりにつなげられるようにしていく。ケース会議に出席する看護師・介護職員は利用者の担当職員とする。
前回の改善計画に対する取組み結果
・コロナ禍もあり、通常業務が過密な状態で改めてケース会議として時間を取ることが難しかったが、日々のミーティングを通して、ご利用者様個別での変化や気づきを共有してケース検討が行えている。モニタリングに関しても記録閲覧することができ、申し送りをご利用者様に対する情報提供・共有はなんとかできていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	5	11	0	16人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	5	11	0	16人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	4	11	1	16人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	6	9	1	16人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者様の希望や想いは実現できるよう関わりを持っている。 ・普段の関わりの中で本人の想いを吸い上げる努力はしている。その想いや変化、また、関わって気づいた点や不安に思う点等、ミーティングで発信・共有されている。 ・本人の当面の目標は、自宅で暮らし続けたい、今の生活の継続ということは日々支援している中で理解できている。 ・ご利用者様の言動や表情、仕草に注意し、何を訴えようとしているか観察・理解するよう努めている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者様全員のケアプランの把握、変更後のケアプランを理解できていない。 ・ご利用者様一人ひとりにゆっくり向き合うことができていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラン更新がされていることに気づかない時もある為、更新されていることが一目でわかるように、個人ファイルに目印を付ける。 ・日々の流れの中での利用者との関わりでは個別での「～したい」を把握することが難しい為、意図的に関わる時間を多く持つよう工夫して対応する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 10月 20日 (13:15~13:45)

3. 日常生活の支援

メンバー 斎藤・新岡・福田・佐藤・信田・澤口・中鶴間

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	10人	6人	0人	16人

前回の改善計画
 職員間の声掛けを多くして物事を一緒に考え行動していくことでチームワークの今日につなげ、日常生活が継続できるよう継続した支援の提供に努める。

前回の改善計画に対する取組み結果
 認知症ケアの推進という業務改善を通して、チームワークの重要性という新たな課題の発見につながり事業所全体で取り組んできたことで、以前よりも職員間の声掛けが増え、意識的に改善計画に取り組めたている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	11	2	16人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	0	14	2	0	16人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	7	8	1	16人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	0	14	2	0	16人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	0	15	1	0	16人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・ご利用者様の気持ちや体調の変化に気づいた時はその都度職員間で共有している。
 ・知り得た情報、変化はミーティング等で発信し、状況に応じた対応は実施できている。
 ・ミーティング時に以前よりも気づき等の情報発信が増えている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・情報共有ができて一時的なこともあった。
 ・利用者の声にならない声の言語化について、職員目線なのでは?と感じる時もある。
 ・共有した情報があっても、業務遂行もあり即時的な対応が難しい場面もあった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 認知症により自分の気持ちを声に出して伝えることが難しいご利用者様の利用が増えてきている為、今まで以上に職員の気づきや言語化が必要になってくる為、チームで同じ視点で対応、評価ができるよう、効果的な情報共有方法を見つける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 3 年 10 月 21 日 (13:35~13:50)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 斎藤・成田・信田・加藤・坂上・川口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	8 人	6 人	1 人	16 人

前回の改善計画
 コロナ禍にあり、利用者・家族の状況（県外への移動や健康状態等）を引き出せるよう関わりを多く持ち、感染予防対策を行いながら必要に応じて柔軟に代替え方法を検討し、安心して自宅で暮らせるよう支援していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
 送迎時にご利用者様・ご家族様へ毎回声を掛けることを以前から続けており、遠方からの帰省状況やご利用者様・ご家族様の健康状態の聞き取りはスムーズに行えている。ご家族様の帰省に伴い、家族で過ごす等の利用変更希望にも柔軟に対応することができていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	6	8	1	16 人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	5	9	1	16 人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	4	9	3	16 人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	3	6	7	16 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・独居の方や高齢世帯の方に関しては、自宅の過ごし方や様子を注意して観察して、ケアマネを通じてご家族様へ情報提供できるようにしている。
- ・コロナ禍での生活、感染防止に必要な対策を実践できた。
- ・地域資源に関しては管理者、ケアマネが把握しており、必要な時には活用できている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・今までの生活スタイルや人間関係はご本人様からの確認だけでは難しい。
- ・ご利用者様のご近所の方々との関わり等については把握が難しい。
- ・特に独居の方は、夜間の様子等に関して客観的な把握はできていない。
- ・ご利用者様、ご家族様に対して本当に必要な社会資源はすべて理解できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

コロナ禍もあり、ご利用者様・ご家族様の状況（健康状態、県外等への移動等）を引き出せるよう関わりを多く持ち、感染予防対策を行いながら必要に応じて柔軟に代替え方法を検討し、安心して自宅で暮らせるよう支援していく。(前回計画の継続)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 10月 22日 (13:30~13:55)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 斎藤・福田・成田・佐藤・春日・澤口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	11人	4人	1人	16人

前回の改善計画

認知症ケア・利用者対応の見直しとチームワークの重要性について業務改善を通して考える機会があったことで、利用者への関わり方や職員との関わり方に良い変化が見られてきている。その為、気づきや記録を増やし利用者の変化を共有し、自分達の支援の改善につなげていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

昨年度の業務改善(認知症ケアの推進)に沿って取り組むことができた。特に職員間で声を掛け合うことが多くなり、日々の変化や気づきが以前よりも共有できているが、時間の経過で取り組みが不十分になる時もあった。また、変化や気づきはきちんと記録へ反映していくことも取り組んできたが、以前よりは記録入力されていたり、また、記録に残すよう声を掛け合うことは増えたが、業務の流れの中で記録入力が後手に回ったり、忘れることも時々見られる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たちの事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	7	7	2	16人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	14	1	0	16人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	10	3	0	16人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	13	2	0	16人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・必要性がある場合は管理者、ケアマネが外部へ相談を行っており、事業所だけでなく他資源の活用ができている。
- ・認知症状に関して、言・行動や前後のご利用者様の様子、周囲の状況やその時の対応等、記録に残すようにしていた。
- ・ご利用者様の変化に応じて支援方法を検討し、対応方法の統一を図っていた。
- ・必要なサービス提供はできている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・業務改善に取り組んでいる時は職員同士で声を掛け合い協力し合っていたが、継続に至っていないと感じる時がある。
- ・ご利用者様の変化、気づいたことの記録を共有するまでにどうしても時間を要してしまう。
- ・地域の資源を使っての支援、事業所内での状況を家族、他サービス機関等へお伝えしているが、不備なく情報が共有され、同じ問題意識であるのかは不明である。(温度差を感じる時があった)
- ・記録量の多さにより情報収集のしづらさを感じる職員も居るが、いかにして文章の中で必要な箇所を見出せるかが大事だと思う。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

情報共有ツールとして、今後も変化や気づきをきちんと記録へ残す体制を継続していく。また、記録物だけに頼るのではなく、声を掛け合いチームで確認し合える環境設定に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 10月 23日 (13:30~13:50)

6. 連携・協働

メンバー 福田・峠館・島脇・村上・坂上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	9人	1人	16人

前回の改善計画	昨年度の改善計画を継続。しかし、避難訓練や非常災害時の受け入れ等については、新型コロナに関わらず、感染対策も盛り込んだ内容で、実施可能な範囲を模索していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍のため、地域との関わりはほとんど無かったが、災害時に備え、物品整備・補充・発電機の取り扱い等の確認ができた。感染予防対策については、常備してある感染予防対策物品については、平時と非常災害時で分けた管理を行っているが、平時での感染状況によっては非常災害時用の物品も使用する等の柔軟に使用できるよう取り決めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	6	5	5	16人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	4	5	7	16人
③	地域の各種機関・団体（自治体、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	0	5	11	16人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	0	6	10	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・管理者、ケアマネ、看護が中心となり、他のサービス機関や医療機関との連携が取れていた。 ・事業所の近隣の清掃や除雪を実施していた。挨拶程度ではあるが近所の方々と関わりは持っていた。 ・コロナ、災害に備えての確認ができた。(何の?) 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で地域との連携を図る活動ができず、また、入館制限も設けざるを得ない状況もあり、地域住民との関わる機会はほとんど皆無であった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>コロナ禍ではあるが感染状況や地域の動向を注視していきながら、可能な範囲で地域活動へ参加ができるよう模索していく。しかし、あくまでも感染予防対策を優先とした形で進めて行く必要がある為、参加とは別に地域に事業所の存在を発信できる形も模索していく。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 10月 25日 (13:45~14:00)

7. 運営

メンバー 斎藤・新岡・成田・春日・加藤・川口

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	4人	9人	3人	16人

前回の改善計画
利用者・家族、地域住民の方々へ誠実に懇切丁寧な対応に努める。事業所に対して意見を話しやすい関係性を維持する為にも、接遇について再度学ぶ機会を設けて行く。

前回の改善計画に対する取組み結果
ご家族様への配慮に欠けた言動によりクレームにつながった時があり、誠実に懇切丁寧な対応ができていなかったが、クレームについて職員間で検討を重ね、職員の姿勢についてより考えるきっかけとなり、改善して次につなげることができている。サービスが逼迫していて研修会という形を思うように作れず、ミーティングの場で自分達の対応を振り返ることしかできず、やはり研修という形で学ぶ機会が必要と捉える。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	4	9	2	16人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	10	4	1	16人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	4	9	3	16人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	0	11	5	16人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・利用時や送迎時にご利用者様やご家族様から出た意見をミーティングで話し合い、サービスに反映させている。(記録に残すようにしている)
 ・コロナ禍で感染予防対策の観点から運営推進会議の開催を自粛しているが、毎回、運営推進委員の方々へ資料を配布し、事業活動を報告している。そこで頂いたご意見等については、改善必要なことは積極的に改善できるよう取り組んでいる。
 ・地域の方からクレーム等は来ていない。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・管理者、ケアマネ以外は、なかなか役割的に運営に関わっている意識を持つことは難しい。
 ・コロナ禍で地域との接点は少なく、地域と協働した取組みはほとんどできていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 クレームを受けてご利用者様・ご家族様に対する職員の接し方を深く考えるきっかけとなったが、時間の経過で意識が薄れないよう、職員間でも接し方について指摘し合える環境作りと復習の場を設ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 10月 26日 (13:50~14:10)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 福田・成田・春日・島脇・加藤・中鶴間

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	13人	2人	1人	16人

前回の改善計画
認知症ケア・利用者対応の見直しを継続して取り組んで行く。職員間の声の掛け合いや助け合いを継続して意識して利用者対応を行うことで、利用者にとって快適に過ごせる場所、安心できる場所の提供に努める。また、実践を通して見えて来る必要な知識・技術・態度を継続して全体で学んで底上げを図って行く。

前回の改善計画に対する取組み結果
職員間の声掛けは以前よりも多くなっている実感を感じていて、ご利用者様への対応に関しても職員が変わっても継続して関わられるよう席を離れる際もさりげなく状況を伝えて引き継いだりしている。また、その日のご利用者様の利用状況に合わせて、居心地良く過ごしていただけるよう、可能な限り、席の配置等、環境設定にも取り組んできた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか?	0	9	4	3	16人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか?	0	1	11	4	16人
③	地域連絡会に参加していますか?	0	2	4	10	16人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか?	0	12	3	1	16人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・リスクマネジメントについて、ケアの中で危険が予測される方の対応等、話し合い、取り組むことができている、再発防止に取り組んでいる。
- ・ミーティング等でヒヤリハットや気づきの共有ができている。アクシデント等、その日に職員で振り返りを行うことで多角的な視点から、再発防止に向けた検討がなされている。
- ・法人研修会へ参加した場合は、資料を職員へ提示し、ミーティングの場で特に学びを得たことを他職員へ伝達している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ご利用者様対応の情報交換は実施しているが、全体での取り組みとは言い切れない部分がある。
- ・コロナ禍や業務量も多く、現実的に日々業務をこなすことで精一杯であり、自己スキルの向上に向けた自己啓発は不足している。
- ・コロナ禍、業務量の増加により、事業所内外の研修は計画通りに実施していくことが難しく、資料閲覧も多くなっていて、集合研修という機会も減っている。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

これまでテーマを決めて事業所内研修を計画してきたが、テーマが大きく網羅した研修となると時間を要してしまい、業務の隙間で費やすことが難しくなっている為、1つのテーマについて細分化し、所要時間を短縮してコンスタントに開催できる業務の組み立てを行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和3年 10月 27日 (13:30~13:55)

9. 人権・プライバシー

メンバー 齋藤・新岡・福田・信田・島脇・澤口・中鶴間

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	3人	8人	5人	16人

前回の改善計画
成年後見制度について、制度の活用が必要な方が居ないことから、身近に感じられず制度の理解に結びつかない為、年間研修計画に盛り込み、職場内研修を通して職員の理解を促すと共に、いつでも制度の活用が必要となった時に必要な助言や動きが取れるよう、体制整備に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果
管理者・ケアマネは職務上、制度について一定の理解が得られているが、他職員はどうしても身近に活用が必要な人が居ない以上、なかなか理解に努める積極的な学習ができていない。年間の研修計画にも盛り込まれているが、コロナ禍、業務量の増加に伴い、研修に十分な時間を要せず、資料の見直しではなかなか難しいものがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	7	6	3	0	16人
②	虐待は行われていない	9	4	3	0	16人
③	プライバシーが守られている	3	11	2	0	16人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	3	2	11	16人
⑤	適正な個人情報の管理ができています	1	10	5	0	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントの側面からも咄嗟に「待ってて」という言葉が出てしまう時がこれまでもあり、伝え方に気を付けるように全職員で統一してからは、同じ言葉でも相手が不快な思いをしない伝え方に注意している。その他、身体拘束、虐待は行われていない。 ・個人情報が記載してある用紙の処分は職員間で意識できている為、ゴミ箱に入れる前に個人情報の記載が無いかの確認の声掛けがあり、再確認してきちんとシュレッダーで廃棄することができ、情報漏洩のリスク回避につながっている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度について、なかなか身近に感じられる制度ではなく、理解が不十分である。 ・いくらリスクマネジメントの観点とはいえ、咄嗟の言葉が結果的に言葉の抑制となってしまっている時がある。 ・ホールが業務の主現場となっていることもあり、どうしてもホール内でご利用者様の情報共有が行わなければならない時もあり、プライバシーの保護とはいえない。(安全優先による配慮不足もある)

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	人権・プライバシーの遵守が求められる一方でリスクマネジメントも求められる現場であるが、ご利用者様は認知症の方が多く、職員の直接処遇が行動・心理症状の誘発要因となり得る為、咄嗟の事態に対しても落ち着いて声を掛け、言葉での抑制をゼロにしていけるよう取り組む。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 同 伸 会	代表者	岩 淵 惣二	法人・ 事業所 の特徴	「すべては地域のために」を法人理念とし、事業所では本人の想いや願いを大切に、家族・地域みんなで納得し、おりあいをつけながら、生活の継続ができるよう、また、個々の人財を活かし、高い倫理性を持った職場づくりと、地域に開かれた求められる福祉拠点を目指しています。
事業所名	小規模多機能ホーム にいだ	管理者	斎藤 竜也		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	新型コロナウイルスの影響が続くことが予想される為、運営推進会議の開催が困難であってもサービス評価の進捗状況が委員の方へ伝わるよう、紙面での中間報告等、状況に合わせて柔軟に対応していく。	各月の活動状況の報告に終始して、サービス評価についての取組み状況の報告は出来ていなかった。	今年度は新型コロナウイルス感染予防対策として会議開催を自粛していたことから、委員の方々からの意見なし。	新型コロナウイルスの影響が続くことが予想される為、運営推進会議の開催が困難であってもサービス評価の進捗状況が委員の方へ伝わるよう、紙面での中間報告等、状況に合わせて柔軟に対応していく。(前年度計画継続)
B. 事業所のしつらえ・環境	レク用品の整理をすると共に、収納方法を工夫し、利用者がやりたい時にすぐできるよう、また、利用者を選択してもらい楽しく過ごしていただけるよう、環境整備を図る。	破損している物と使用できる物を整理し、また、ある物でレク内容を工夫して対応できるようになっている。また、保管場所も検討することとしていたが、保管場所は整理できたが、目的である利用者がやりたい時にすぐできる、選択して楽しんでいただくという視点ではまだできていない。	同上	利用者がやりたい時にすぐできるよう、また、利用者を選択してもらい楽しく過ごしていただけるよう、環境整備を図る。(前年度計画継続)
C. 事業所と地域のかかわり	継続して事業所周辺の環境美化、除雪に取り組んで行く。特に、冬期間はご近所の方々も事業所職員も安全に走行・歩行できるよう、協力して除雪に取り組む。	業務状況にもより毎回とは行かなかったが、事業所に設置してある自動販売機周辺のゴミ拾いや、除雪作業は積極的に取り組んできた。	同上	継続して事業所周辺の環境美化、除雪に取り組んで行く。特に、冬期間はご近所の方々も事業所職員も安全に走行・歩行できるよう、協力して除雪に取り組む。(前年度計画継続)
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	1人暮らしの利用者が安心して住み慣れた自宅・地域で暮らしていけるよう、関連機関(普段行くお店や民生委員等)と連携の強化を図り、地域資源の活用に取り組む。	外出機会が多い認知症の方の、普段良く行くお店の方と家族、事業所で何かあった時の連絡体制を構築したケースもあり、必要性を見極めながら、関連機関へ無理が生じない範囲で今後も取り組んで行く。	同上	1人暮らしの利用者が安心して住み慣れた自宅・地域で暮らしていけるよう、関連機関(普段行くお店や民生委員等)と連携の強化を図り、地域資源の活用に取り組む。(前年度計画継続)
E. 運営推進会議を活かした取組み	今後も新型コロナウイルス感染予防対策として、運営推進会議開催の自粛も予測される為、必要な報告がきちんと委員の方々へなされるよう、会議資料の見直しを図り、アドバイスや助言を受け、運営改善を図っていく。	会議開催が困難な状況にあり、資料作成にあたって活動状況を詳しく記載するよう努めたが、詳しく記載しようとするあまり、文章がくどく、目を通しづらいものとなってしまった。	同上	今後も新型コロナウイルス感染予防対策として、運営推進会議開催の自粛も予測される為、必要な報告がきちんと委員の方々へなされるよう、会議資料の見直しを図り、アドバイスや助言を受け、運営改善を図っていく。(前年度計画継続)

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>自然災害時に危険区域内に居住している利用者の安否確認方法を明確にしていく。居住地域の民児協の方といざという時に瞬時に連携できる体制作りを行っていく。</p>	<p>利用者の変動により、危険区域に居住している方は現在居ないが、ハザードマップと照らし合わせて、新規利用者があった時は確認している。しかし、居住地域の民児協の方との体制作りまでは実施できていない。</p>	<p>同上</p>	<p>自然災害時に危険区域内に居住している利用者の安否確認方法を明確にしていく。居住地域の民児協の方といざという時に瞬時に連携できる体制作りを行っていく。 (前年度計画継続)</p>
----------------------------	---	---	-----------	---